

月信

GOVERNOR'S
Monthly Letter



Rotary

International
District

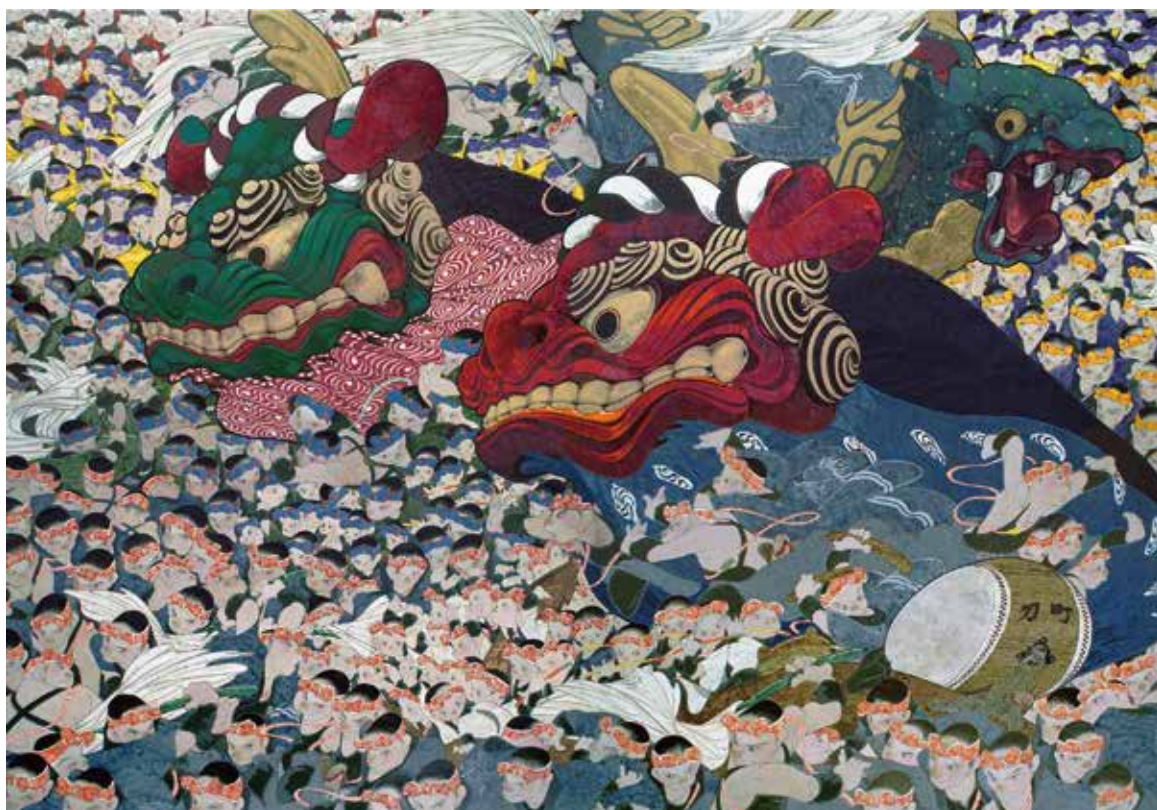
2740

VOL. 5

2025.11



2025-26 年度 ガバナー月信



中島 潔 作 「唐津くんち」



Index

Governor's message No.5	1
ガバナー公式訪問クラブ報告	2
第2780地区 財団学友会の長崎訪問（千羽鶴拝贈）同行報告	13
米山奨学生に対する出前卓話研修会・寄付者紹介	14
第2740地区 職業奉仕委員会新聞	15
2025年8月 会員数・出席報告	16
新会員・物故者	17
からつ勘右衛（かんね）話・編集後記	裏表紙

“ロータリーの季節！ 街に出てみよう！！”

2025-26年度 ガバナー 石坂 和彦

今月はロータリー財団月間です。

この瞬間も世界のどこかで、人間愛と人道主義に基づくロータリー財団のプロジェクトがなされています。ロータリーの活躍の舞台は、世界です。ロータリーは、世界中から必要とされています。ロータリー財団の価値を再確認いたしましょう。先日9月27日(土)の第2740地区ロータリー財団セミナー、ご参加有り難うございました。

『ロータリーの物語は塗り替えていかなければなりません。』ロータリーの創始者ポール・ハリスの言葉です。

〈革新・継続性・パートナーシップ〉

革新、変革を重ねてきたからこそロータリーの歴史があります。ロータリアンとして、そして市民として、経営に携わる者として、人々と手をつなぎ合ってまいりました。ロータリーは一瞬一瞬を大切にしながら継続し紡がれてまいりました。先輩方は、1905年から世紀を超えてロータリーの灯を守り続けてまいりました。周辺を明るく照らし続けていただきました。更に1917年に正式にロータリー財団が発足いたしました。ロータリー財団を通じて一気にロータリーの活動が広がっていきました。

六つの感性(センス)があなたの道を開く 成功の鍵

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 「機能」だけでなく「デザイン」 | 2. 「議論」よりは「物語」 |
| 3. 「個別」よりも「全体の調和」 | 4. 「論理」ではなく「共感」 |
| 5. 「まじめ」だけでなく「遊び心」 | 6. 「モノ」よりも「生きがい」 |

(出典:ハイコンセプト「あたらしいこと」を考え出す人の時代)

再び、新しい時代を開くための六つの感性(センス)を思い返してみました。20年前の著書なんですけれどもこれらの一つひとつは、今の時代にもちゃんと通じます。それどころか益々心掛けなければならない事柄であり、ロータリー活動に、経営していくこと、ひいては生きていくためのアドバイスでもあります。

11月です。地球の優しさを感じることもできる、日本ならではの季節です。街に出てみましょう！！四季を感じてみましょう。地区大会も大成功の裡に唐津の地で開催されました。ロータリーの素晴らしさ、ロータリアン、ロータリーファミリー皆さん方の未来を創るエネルギー、そして頼もしさに改めて感銘を受けました。ありがとうございました。

ガバナー公式訪問クラブ報告

長崎中央 RC 会長 増井直実
8月4日(月) 幹事 徳永辰夫

2025年8月4日(月)、石坂和彦ガバナー、中部省三ガバナー補佐、中島幸利地区幹事、

徳川清隆地区副幹事、田尻浩昭氏(唐津ロータリークラブ)をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち、石坂ガバナー、中部ガバナー補佐、中島地区幹事と、当クラブより増井直実会長、徳永辰夫幹事(会長エレクト)、青野悠副幹事、塚崎寛パストガバナーが参加しクラブの現況及びクラブが抱える問題点、また今後のクラブ運営についてなどの報告をさせていただきました。

国際ロータリーの基本方針も同じでしたが、当クラブの一番の課題は会員増強です。「現会員が辞めないクラブ作りに対して、どのような対策を講じていますか」との中島地区幹事からの問い掛けに、「楽しいクラブでないと継続出来ない」とお答えいたしました。それに対して、石坂ガバナーより、「楽しいクラブ作りはとても素晴らしいことですから、会長方針にもあるように、クラブでワンチームとなつてご尽力ください」と、励ましのお言葉をいただきました。

例会での講話では、石坂ガバナーにRI会長の方針や地区の方針を説明していただき、地区大会のご案内にて、例会は閉会しました。

例会終了後、当クラブのロータリアンと座談会が行われ、当クラブの良いところ、今後の課題等を楽しく話しながら、ガバナー公式訪問は終了いたしました。

最後になりますが、これからも当クラブが継続し、発展して行くよう頑張つてまいります。本日はお忙しいなか、ご来訪いただきましてありがとうございました。



北松浦 RC 会長 岩屋聡介
8月5日(火) 幹事 有馬明彦

8月5日(火)石坂和彦ガバナー、増本一也第5グループガバナー補佐、中島幸利地区幹事、渡邊耕地区副幹事そして太田年一副事務局長をお迎えして、サンパーク吉井にて公式訪問例会を開催しました。

例会前の懇談会では、クラブ現況報告を基に当クラブの現状を報告し、特徴を『非常にアットホームな雰囲気のクラブ』と説明しました。当クラブに関した気づかれた様々な点について有意義な助言を多々いただきました。

例会では、当クラブ自慢のサンパーク吉井の食事を満喫していただきました。メインメニューは「ドライカレーと特性ブラックカレーの二層仕立ての焼カレー 月桂樹を添えて」でした。添えられた月桂樹の葉はもちろん石坂ガバナーからいただいた苗から育てた月桂樹のものです。石坂ガバナーも気づかれたようで嬉しそうにされておられました。

卓話の時間では地区の運営方針について熱く語っていただき、今後のロータリー活動の礎となる貴重なお話を伺うことができました。例会後の『ロータリアンと語る会』においては、若手からベテラン会員までの様々な意見や要望などに寄り添っていただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。

最後に石坂ガバナー、増本ガバナー補佐、中島地区幹事、渡邊耕地区副幹事そして太田年一副事務局長の益々のご活躍とご健勝を祈念申し上げます。ご訪問頂きありがとうございました。



ガバナー公式訪問クラブ報告

神埼 RC 会長 貞島博文
8月5日(火) 幹事 谷口貴子

2025年8月5日、国際ロータリー第2740地区より石坂和彦ガバナー、西田信行ガバナー補佐、中島幸利地区幹事、渡邊耕副幹事、唐津ロータリークラブの太田年一様をお迎えし、神埼ロータリークラブ公式訪問例会を開催いたしました。

例会に先立ち行われた会長・幹事懇談会では、クラブ活動の現況報告に加え、来年2月に予定している創立40周年記念事業の計画案をご説明し、貴重なご助言を頂きました。

また、クラブ内の経歴や年齢層の違い、新入会員の増加に伴う運営の在り方についても意見交換を行いクラブとして皆が納得し、クラブ内のジェネレーションギャップをどのように克服すれば良いのかをご相談させていただきました。

石坂ガバナーからは、「ジェネレーションの違いは障害ではなく、互いの違いを認め、尊重し合い、混ざり合っていくことが大切」との温かいお言葉を頂き、会員それぞれの思いを一円融合させたクラブ運営のあり方を改めて考える機会となりました。

夜例会にもご参加いただき、「ロータリアンと語る会」では活発でにぎやかな意見交換が行われ、笑顔と学びに満ちた有意義な一日となりました。

最後に、石坂ガバナーをはじめご来訪いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



島原南 RC 会長 松尾康弘
8月6日(水) 幹事 福田あずさ

8月6日、当クラブにおきましてガバナー公式訪問が行われ、終始和やかな雰囲気の中で大変有意義な時間となりました。ガバナーからはRI中長期計画の実践に向けて、地区

組織を活用しながら明確な目標を立てる大切さを示していただき、今後の活動の指針となるお言葉を頂戴しました。

さらにRLI研修会についても、学んだ内容を会員全体に共有することでクラブ全体の成長につながるとご助言くださり、リーダー育成の重要性を改めて感じる機会となりました。

加えて会員増強や姉妹クラブとの交流についても具体的で前向きなご提案をいただき、クラブ運営のヒントが多く示されました。地区幹事からも各クラブの工夫や魅力的な事例を紹介いただき、例会を楽しくするヒントとして大変参考になりました。訪問を通じ、クラブの将来像をさらに前向きに描ける大きな励みとなりました。



ガバナー公式訪問クラブ報告

諫早北 RC 会長 松田洋一
8月7日(木) 幹事 水頭知美



8月7日(木)、石坂ガバナー、山田ガバナー補佐、中島地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会前の懇談会では、松田会長と黒田会長エレクト、幹事の水頭が参加しました。予定よりも早い11時には皆さんそろわれていたので、時間を早めてスタートしましたが、例会ギリギリの12時20分まで充実した懇談会となりました。事前に諫早北ロータリークラブの活動報告要旨を隅々までよく読みこんでおられ、ご質問や的確なご指導をいただき、とても熱心に取り組まれていることを改めて実感しました。頂いたご意見を早速、次回の戦略委員会で協議し、今後の諫早北ロータリークラブの運営に活かしていきたいと思ひます。

牛津 RC 会長 長戸和光
8月8日(金) 幹事 西村明浩

8月8日に開催された牛津ロータリークラブの例会に、2025-26年度2740地区石坂和彦ガバナー、古川眞澄第1グループガバナー補佐、中島幸利地区幹事にらにご来訪頂き、ガバナー公式訪問例会を開催しました。当日は、11時30分よりガバナー、地区幹事及びガバナー補佐と当クラブ役員との懇談会を行い、12時30分からの例会の中で、ガバナーに卓話を行って頂き、その中で本年の地区方針等についてお話を頂戴いたしました。また、卓話終了後には、地区大会のキャラバンも行われました。懇談会については、私が2年連続の会長で、会長前の年度は幹事であったことから、3年連続での参加となりましたが、過去2年と比較すると、中島地区幹事の司会の下、当クラブの資料を基に詳細な内容について懇談が行われました。また、例会中の卓話においては、本年の地区方針や課題等について石坂ガバナーよりご説明頂きました。ガバナー公式訪問例会は、国際ロータリー本部や地区の方針を直接伺うことのできる貴重な機会ですが、特に本年は石坂ガバナーが2年連続で当地区の舵取りをされることになり、昨年の方針を発展させた形での地区方針を伺うことができました。例会終了後には、本年もガバナーと「ロータリアンと語る会」が開催され、当クラブの総会員数の半数以上の会員が参加しました。当クラブには昨年度から石坂ガバナーと親しくさせて頂いていたメンバーもあり、予定時間では収まらない程盛り上がりましたが、様々な課題について意見交換をする中で、さらにガバナーとの距離感が近付き、様々な課題を共有することができました。本年度のガバナー公式訪問については、前年度からの関係性もあって、非常に友好的な雰囲気の中で実施され、さらに地区と当クラブとの友好を深める機会となりました。このような場をご提供頂いたガバナー及びご来訪頂いた地区役員の皆様に心から感謝申し上げますとともに、微力ながらも石坂ガバナーとともに当地区を盛り上げていく決意を表し、当クラブからの報告とさせていただきます。



離感が近付き、様々な課題を共有することができました。本年度のガバナー公式訪問については、前年度からの関係性もあって、非常に友好的な雰囲気の中で実施され、さらに地区と当クラブとの友好を深める機会となりました。このような場をご提供頂いたガバナー及びご来訪頂いた地区役員の皆様に心から感謝申し上げますとともに、微力ながらも石坂ガバナーとともに当地区を盛り上げていく決意を表し、当クラブからの報告とさせていただきます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

佐世保北 RC 会長 西沢寛
8月18日(月) 幹事 船津学

令和7年8月18日(月)当クラブへ石坂和彦ガバナーが公式訪問されました。

例会に先立ち、懇談会では当クラブの問題点である会員増強のことについてたくさんのアドバイスを頂きました。

また、石坂ガバナーからも衛星クラブについてや、昨年おこなったグローバル補助金を用いた事業についてご質問やご意見を頂きました。

例会では、石坂ガバナーからRI会長メッセージ、地区テーマについて卓話を頂き、あらためてロータリー、そして“未来へ紡ごう ロータリーの価値！”に関する理解が深まったと思います。

また、例会終了後に「ロータリアンと語る会」を企画して頂きまして、直接ガバナーとお話しできる機会とあって当クラブからはたくさんの会員が参加しました。気さくにお話をされ、特に新入会員にとっては貴重な体験ができました。お忙しい中、ご来訪頂きましたことに感謝し、これからもロータリー活動の発展に向け頑張っていきたいと思います。



有田 RC 会長 坂本敏彦
8月19日(火) 幹事 梶原貞則

8月19日(火)石坂和彦ガバナー、馬渡洋三第3グループガバナー補佐、中島幸利地区幹事、徳川清隆君、月俣博君(唐津RC)をお迎えしガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会前の懇談会では当クラブより坂本会長、西山会長エレクト、梶原幹事が出席致しました。

今年度の重点事業として、若い方の入会を進めていきたい。また会員の親睦活動の一環として、野球観戦か相撲観戦を家族一緒に行いたいと考えています。

例会では石坂ガバナーに今年度の運営方針などを詳しくお話頂き大変勉強になりました。また例会後の「ロータリアンと語る会」では忌憚のない意見交換を行いました。その中で日本最初のロータリアンである福島喜三次翁の胸像が有田町内にあることを伝え、それは凄い事なので『ロータリーの友』に掲載したら良いとアドバイスして頂きました。

二年続けてのガバナーは大変だと思いますが、健康に留意されてのご活躍を祈念致します。



Rotary 2025~2026 年度 国際ロータリー第2740地区 石坂和彦ガバナー公式訪問 有田ロータリークラブ 2025.8.19



ガバナー公式訪問クラブ報告

佐賀南 RC 会長 山本正樹
8月19日(火) 幹事 岩谷正彦

本年8月19日 石坂和彦ガバナー、西田信行ガバナー補佐、中島幸利地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

懇談会におきましては、クラブ現況及び活動計画書に記載項目の確認を行い、ガバナーより当クラブに対して適切なるアドバイスを頂きました。

また「ロータリアンと語る会」では多くの参加者より出た質問や考えに対しても丁寧に答えていただきました。

例会では「ロータリーの価値を未来へと紡ぐ」卓話を聞き熱い思いが伝わり、地域に希望と活力をもたらす影響力のあるクラブとなるため努力していきたいと思いました。

最後にご訪問頂きました石坂ガバナーはじめ地区役員の皆様に厚く御礼申し上げると共に、ご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



佐賀空港 RC 会長 手塚俊博
8月20日(水) 幹事 江口和徳

2025年8月20日、佐賀空港ロータリークラブは、2740地区の石坂ガバナーと地区役員の皆様をクラブ例会にお迎えしました。会長幹事との懇談会に始まり、ガバナー卓話、そして記念撮影と大変貴重で充実した時間を過ごすことができました。

ガバナーの温かいお人柄と、ロータリーに対する熱い情熱に直接触れることができ、会員一同、心に深く刻まれる一日となりました。

ガバナー卓話では、ロータリーの未来を見据えた力強いメッセージを拝聴し、改めて奉仕活動の意義について深く考える機会となりました。特に、次世代の若者たちとの連携や、地域社会との絆を深めることの重要性に関するお話は、今後のクラブ活動の新たな指針となる示唆に富んでおり、大きな刺激を受けました。

また、10月24日、25日に唐津市で開催される「国際ロータリー第2740地区大会」へのご案内もありました。「若者が紡ぐ、世界をつなぐ希望の絆」というテーマのもと、記念講演や分科会が予定されており、会員全員で参加し、さらなる学びを深められることを心待ちにしています。



今回の訪問を機に、佐賀空港ロータリークラブは地域社会への貢献をさらに積極的に展開していく決意を新たにしました。

ガバナー公式訪問クラブ報告

小城 RC 会長 中原晃
8月20日(水) 幹事 真子政彦

8月20日(水)に石坂和彦ガバナー、古川真澄第1Gガバナー補佐及び中島幸利地区幹事の皆様との懇談会を開催、クラブ概況報告等の記載事項についての改善点をご指導いただきました。

懇談会後は当クラブの例会(夜)に御出席いただき、石坂和彦ガバナーから地区テーマ「未来へ紡ごうロータリーの価値！「一円融合」」について、支え合い・補い合い・一緒に楽しみ、互いに働き合い一体になることが尊いことだと学び、大変感銘致しました。

当クラブは現在会員数28名と少人数ですが、創立当初から社会奉仕・新世代奉仕を第一に独自の高校奨学生制度、ひとり親世帯の児童や寝たきり高齢者への支援、地域少年野球大会や少年サッカー大会への支援及び「おぎア・カペラコンテスト」の開催等に取り組んできました。本年11月に創立60周年を迎えますが、これもひとえにロータリアンの皆様、クラブの先輩方、地域の皆様など多くの方々のご支援があったからだ感謝するとともに、奉仕活動を未来へ紡ぐことが大切だと再認識いたしました。

例会後の懇親会にもご参加いただき大変恐縮しましたが、お酒も入り、懇談会・例会とは又違った話題などで大変盛り上がりしました。例会・懇親会には佐々木智之地区副幹事及び飯田亮一君(唐津RC)にもご参加頂き大変有難うございました。



大町 RC 会長 三宅毅
8月21日(木) 幹事 重富邦夫

令和7年8月21(木) 石坂和彦ガバナー、馬渡洋三第3グループガバナー補佐、中島幸利地区幹事をお迎えしてのガバナー公式訪問例会を開催いたしました。猛暑の中、また連日のクラブ訪問でお疲れのところご訪問頂きありがとうございました。

懇談会では石坂ガバナー、中島地区幹事よりロータリー活動における会長の役割、クラブの問題点などについてご指摘をいただく事ができました。

2025-26年度のテーマは『未来へ紡ごう ロータリーの価値!』です。

大町ロータリークラブは会員13名(名誉会員1名)の小さなクラブです。

日々の例会を通して会員同志の心を紡ぎ、慌てず、焦らず、丁寧に先人が紡いできたものを受け継ぎ

ながら時代の流れに変化し続け、糸を強く引き締めるようにロータリー活動が行えるように努めていきたいと再認識致しました。同じ理念を共有できる仲間を1人でも多く増やし、ロータリーの輪を広げていきたいと思えます。

最後になりましたが、石坂和彦ガバナー並びに地区役員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



ガバナー公式訪問クラブ報告

嬉野 RC 会長 永尾和義
8月22日(金) 幹事 原幸二

8月22日(金) 石坂ガバナー、馬渡ガバナー補佐、中島地区幹事をお迎えして、嬉野観光ホテル大正屋にてガバナー公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ちガバナー、ガバナー補佐、地区幹事、当クラブ会長幹事会長エレクトの6名にて別室にて懇談会が行われました。

当クラブの取り組み等についてお尋ねでは、ロータリー歴48年経験豊富な原幹事より説明、質問などして戴きました。その中で当クラブは親睦を大事に仲良く、家族のような付き合いが出来るクラブを目指しますとお伝えしました。

例会後に石坂ガバナーのご好意で30分の予定で、時間が許せる会員15名で、ガバナー、ガバナー補佐、地区幹事を囲んで車座で「ロータリアンと語る会」を行い各人一人ずつ思いの意見交換ができました。30分過ぎた頃時間は宜しいですかと尋ねましたが、皆が宜しければと言うことでガバナーの講評まで計18名の貴重な「ロータリアンと語る会」が出来、充実したガバナー公式訪問を終えることが出来ました。



大村東 RC 会長 石田一美
8月25日(月) 幹事 角谷一紀

8月25日(月)大村東ロータリークラブの8月第3例会にて、ガバナー公式訪問例会が開催されました。

石坂和彦ガバナー、第7グループの喜多清基ガバナー補佐、中島幸利地区幹事をはじめ、唐津RCから2名(松尾君、佐々木君)、大村RCから3名(俣野君、大塚君、高瀬君)と多くのビジターに参加頂き、緊張感のあるガバナー公式訪問例会となりました。

石坂ガバナーの卓話では、ロータリーの価値を未来に紡ぐ大切さと、会員同士の親睦や交流を大切にしながらロータリーを共に楽しみましようという話が印象的でした。

卓話の後は、バナーの交換や、唐津RCによる地区大会のキャラバンがあり、多くのメンバーで唐津に訪問することを約束させて頂きました。

例会後の「ロータリアンと語る会」では、10名ほどのメンバーが残り、ロータリーで一番楽しかった思い出について語り合い盛り上がりしました。



ガバナー公式訪問クラブ報告

佐世保西 RC 会長 青木資行
8月26日(火) 幹事 酒井英士

8月26日、セントラルホテル佐世保にて、石坂和彦ガバナー、増本一也ガバナー補佐、中島幸利地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催致しました。

懇談会では、昨年企画された卓話内容が素晴らしい事、女性会員の比率が高いこと、4年連続会員増強が出来ていることは地区内でも他にない素晴らしいクラブだと仰って頂きました。仲が良く団結したクラブといえ、少人数クラブの問題ともいえる世代間の格差(60代が少ない)や、教育や歴史等の継承の問題点について相談して、ご指導頂きました。その指導の中で、「定款・細則等のロータリー活動の根幹になるものは、誰でもが手元に持つことができる活動報告書に記載した方がいい」という意見については、来年度発行で必ず取り入れよう思いました。

例会では、ガバナーから、国際ロータリーの目標や地区重点事業、ポリオ撲滅の取組み等に関するご講和を拝聴しました。

例会終了後の「ロータリアンと語る会」では、「当クラブの良さ」というテーマを中心に一人ひとりからクラブへの思いや仕事や活動の悩みなどの発表が行われました。

これまで笑顔溢れるロータリーをモットーに活動を続けてきましたが、次のステップとして、ロータリーの根幹に対する研修の機会を増やしていきたいと思います。ご来訪いただき誠にありがとうございました。



長崎北東 RC 会長 岩永城児
8月27日(水) 幹事 西村泰徳

去る2025年8月27日(水)、石坂和彦ガバナー、平山寿則ガバナー補佐、中島幸利地区幹事、そして唐津RCの徳川清隆様、月俣博様をお迎えし、ガバナー公式訪問を実施いたしました。

例会に先立ち、会長の岩永と西村幹事、南里会長エレクトが、クラブの現況報告、及び活動計画について意見交換をさせていただきました。ガバナーより、当クラブの活動計画要旨についてお褒めの言葉をいただきました。

例会での卓話では、ガバナーにRI会長の方針や地区の方針についてご説明いただきました。会員全員が、今後の活動の指針となる貴重なお話を聞くことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

例会終了後には、「ロータリアンと語る会」が行われ、ガバナーと会員がざっくばらんに語り合うことができました。一人ひとりの質問に丁寧に答えていただき、ロータリーの価値を再認識する良い機会となりました。



最後に、お忙しい中、当クラブをご訪問いただき、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

ガバナー公式訪問クラブ報告

唐津東 RC 会長 坂本慎一郎
8月28日(木) 幹事 稲津高大

8月28日(木)石坂和彦ガバナー、小林ガバナー補佐、中島地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会前に、懇談会を行いました。2年続いての石坂ガバナーでしたので、親近感がわき和やかな時間でした。

ガバナー及び地区幹事から、しっかり読み込まれた当クラブの「現状と活動計画書」からの質問を受け、それにお答えしました。その時に、当クラブが61年の歴史あるクラブであるので、創立以来受け継がれた「親睦と融和」の精神の下に、未来へロータリーの価値を紡いでまいりましょうと助言を頂きました。

その後、例会場に案内しまして、会員からの歓迎を受けられ例会が始まりました。ガバナーの地区運営方針を、丁寧に分かりやすく説明して頂きました。

例会後の、「ロータリアンと語る会」では3年未満の会員が多く、中島幹事のコーディネーターがよかったせいか、若い会員の当クラブの評価が聞けて参考になりました。



唐津中央 RC 会長 大西康之
8月29日(金) 幹事 岸本大志

8月29日(金)石坂ガバナー・小林ガバナー補佐・中島地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催しました。

例会前の懇談会では、姉妹クラブ「麗水閑麗(ヨスハリヨ)RC」との交流や、コロナ禍により行えなかった「夜例会」の復活など、唐津中央ロータリークラブが行おうとしている事業を報告させていただきました。

例会では石坂ガバナーによる「未来へ紡ごうロータリーの価値“一円融合”」のお題で今年度地区方針をわかりやすく説明いただき、終了後10月に唐津の地にて開催される地区大会、唐津ロータリークラブキャラバン隊をからのPRを受け地区大会の成功を祈願しました。

また例会終了後の「ロータリアンと語る会」では沢山の会員と忌憚のない意見交換を実施させていただき、今後のクラブの活性化へ繋げていきたいと思ひます。石坂ガバナー並びに地区役員の皆様の訪問に感謝申し上げますと共に、今後のご活躍とご健勝を祈念いたします。



ガバナー公式訪問クラブ報告

雲仙 諫早南 RC 会長 千葉まさこ
9月1日(月) 幹事 野中澄子

9月1日、石坂ガバナー、山田ガバナー補佐、中島地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

懇談会後に、例会を開始し、ガバナー卓話を拝聴しました。

石坂ガバナーは、「辻ガバナーエレクトの突然の事態により、思いがけず、二年続けて、2740地区のガバナーを引き受ける事態になり、頭が真っ白になった」が、「御遺志を継いで、地区のために頑張ります。皆さんも、ロータリーの価値を高め、ロータリーを楽しむことで会員増強に力を尽くして下さい」と、話されました。

当クラブは、会員数は少ないのですが、ガバナーからは、“このクラブは大変暖かく、模範的なクラブです”と、お褒め頂きました。



2025-26年度RI会長も、マリオ氏から、フランチェスコ氏に交代され、本年度は目まぐるしい年ですが、石坂ガバナーをしっかり支えて、一同、会員増強に頑張ろうと思います。

長崎西 RC 会長 尾本久男
9月2日(火) 幹事 馬場隆寿



令和7年9月2日(火)、石坂和彦ガバナーが公式活動の一環として、長崎西ロータリークラブを訪問されました。

例会に先立ち開催された事前懇談会においては、当クラブの年次計画に関し、石坂ガバナーならびに中島地区幹事より多岐にわたるご質問を賜りました。ご質問の内容は的確かつ鋭く、回答に苦慮する場面もございましたが、当クラブの活動方針についてご理解を深めていただくことができました。

例会プログラムでは、「未来へ紡ごう ロータリーの価値！」と題し、石坂ガバナーによる基調講演が行われました。講演では、ロータリークラブが今後目指すべき方向性やその理念について、丁寧かつ情熱を込めてご説明いただき、会員一同が共通理解を深める貴重な機会となりました。

例会終了後には、「ロータリアンと語る会」が開催され、当クラブならびにロータリークラブ全体に関する課題や今後の展望について、活発な意見交換が行われました。



ガバナー公式訪問クラブ報告

佐世保 RC 会長 松尾文隆
9月3日(水) 幹事 安福竜介

9月3日(水)、レオプラザホテル佐世保にて石坂和彦ガバナー、増本一也第5グループガバナー補佐、中島幸利地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会前の懇談会には当クラブより松尾文隆会長、納所佳民会長エレクト、安福竜介幹事が出席し、会長より本年度の活動方針や現況報告を行いました。

例会のガバナー卓話では言葉をゆっくりかみしめながら話されるいつもの語り口調が非常に心地よく耳に入り、地区の運営方針なども分かりやすく丁寧に説明していただきました。

例会後の『ロータリアンと語る会』では「ロータリーで楽しかったこと」をテーマに参加者20名全員がそれぞれの経験談を語り合いました。石坂ガバナー、中島地区幹事には終始和やかで楽しい雰囲気づくりをしていただき若手メンバーも直接ガバナーと意見交換ができる貴重なお時間をいただきました。



2期連続でのガバナーは大変な激務と思いますが、健康に留意され今年度の地区運営が無事に終わられますことを会員一同ご祈念申し上げます。

諫早西 RC 会長 吉田健一郎
9月3日(水) 幹事 友永俊介

9月3日(水)に2025-26年度2740地区石坂和彦ガバナー(大村RC)、山田和弘ガバナー補佐(諫早RC)、中島幸利地区幹事(唐津RC)をお迎えして諫早西ロータリークラブガバナー公式訪問例会を平安閣諫早サンプリエールにて開催いたしました。



国際ロータリー第2740地区
石坂和彦ガバナー公式訪問

当クラブは前年度同様「夜の例会」として開催させて頂いた事で、会員とガバナーの親睦がより深まったのではないかと実感しております。ガバナー公式訪問は暑い時期に開催され、これまで沢山のクラブを長い期間をかけご訪問・ご指導されておられるとの事。本当にお疲れ様でございます。

会長幹事懇談会では、中島地区幹事から我々が気付いていない角度からご指摘を頂く場面があり会長幹事共々ドキッとしましたが懇切丁寧に指導下さり、私たちにとって大変有意義な時間となりました。

そして本題の石坂ガバナー卓話では『未来へ紡ごう ロータリーの価値!』の方針に基づいた講話の中で「ロータリーが誕生して底流に流れるもの、理念の継承、私達の事業で言えば暖簾といえるもの、ロータリーの先輩のご努力に心から感謝。紡いでいきたいと思ひます。慌てず、焦らず、丁寧に、ロータリー活動が出来たら」とおっしゃっておられました。親睦と奉仕は、ロータリーの両輪の如く言われますが、それを「軸」としてとらえ、親睦が自身の成長する機会を得る事ができ、奉仕からは心の豊かさを培えることができる。居心地がいいから会員を維持することができ、クラブ内での増強も活発になると、『ロータリアンと語る会』の席でも話しておられました。今後も増強につながる活動も、クラブ全体で考えていきたいと思ひます。

最後に唐津RCによる地区大会キャラバンが開催され約15mもの横断幕を携えて盛大に執り行われました。今回のガバナー公式訪問、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

第2780地区 財団学友会の長崎訪問(千羽鶴拝贈)同行報告

次年度地区幹事 米瀨 誠二 (長崎東RC)

今年80年を迎える長崎原爆祈念日にあわせ、平和の尊さを次世代に伝える活動の一環として、国際ロータリー第2780地区(横浜市と川崎市を除く、神奈川県下のクラブが所属)では財団学友会、湘南国際音楽祭、地域の音楽教室の子どもたちにより千羽鶴を作成。8月9日、完成した千羽鶴は長崎原爆資料館に届けられ、原爆で亡くなられた方々の御霊に捧げられました。子どもたち一人ひとりの真心が込められた千羽鶴には、「二度と悲惨な戦争を繰り返さない」「平和な世界を未来に引き継ぎたい」という願いが託されていました。

8月9日(土)～10日(日)に長崎を訪問された第2780地区学友会の岡山代表幹事と藤原和奏次年度代表幹事に、当地区の中島健太郎ガバナーエレクト、米瀨誠二次年度地区幹事が同行し、その活動の支援を行いました。慰霊碑の前では黙祷を捧げ、原爆犠牲者の方々に哀悼の誠を捧げるとともに、恒久平和の実現をあらためて誓いました。また、原爆資料館を見学し、世界平和への思いを共有。平和祈念公園、片足鳥居や被爆樹木の楠木がある山王神社へご案内し、被爆80年が経過した今でもそびえ立つ大楠を見学しました。

今回の訪問は、平和の尊さを再認識するとともに、他地区との交流を深める貴重な機会となりました。特に、子どもたちが千羽鶴へ込めた想いを直接資料館に届ける活動に立ち会えたことは、ロータリアンとしての使命を改めて感じる時間でした。今後もこうした平和活動や地区間交流を積極的に支援してまいります。



米山奨学生に対する出前卓話研修会

米山記念奨学委員長 **高谷 信一**（長崎出島RC）

令和7年8月30日、大村市の総合福祉センターにおいて米山奨学生に対する出前卓話研修会を、米山カウンセラーに対してカウンセラー研修会を開催いたしました。

出前卓話研修会は10月の米山月間において、地区内の各クラブへ米山奨学生を派遣して出前卓話を実施するにあたり、ロータリアンの皆さまにより理解していただけるよう、卓話の作成ポイントやコツを先輩学生並びに米山学友から学んでいただきました。それと同時に日常生活で困っていることや悩み事等を学生と学友のみで話し合う時間を取り、解決へとつなげていく機会を設けました。

カウンセラー研修会は、4月に奨学生を受け入れてから約5か月が経過した中で感じたこと、活動や体験例、その他悩み事等を少人数にてディスカッションしていただき、情報を共有し、残りの期間をより有意義に活動していただくべく開催いたしました。それぞれ個別の研修会が終わった後は、合同にて各クラブへお伺いする日程の調整を行いました。

出前卓話について米山奨学生は、「とても緊張する」「普段会えない方々と出会う機会があって楽しみ」等の思いを抱いています。それぞれの奨学生において、日本語のレベルや内容に関して特色があるかと存じますが、それを米山奨学生の個性として捉えていただき、温かく迎え入れていただけると幸いです。



寄付者紹介 ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

※ ロータリー財団 ※

種 類	氏 名	クラブ名
ポール・ハリス・フェロー	村山 優	唐津中央RC

ポリオ・ワンコインBOX報告

今月分BOX金額	184,793円
累計金額	506,502円

※ 米山記念奨学会 ※

種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者メジャーダー	岡田 康信	長崎中央RC
米山功労者マルチプル	於保 静枝	佐賀大和RC
	西尾 弘毅	北松浦RC

第 2740 地区 職業奉仕委員会新聞

発行：職業奉仕委員会
2025 年 令和 7 年 5 号

五 号

第2740地区 新聞
職業奉仕委員会

2025-26 年度RI会長フランチェスコ・アレツツォ氏は、ロータリークラブ成長のための「不可欠な3つの柱」として①革新②継続性③パートナーシップを掲げられました。この①「革新」を辞書で引くと「旧来の制度・組織・方法・習慣などを改めて新しくすること」とあります。あくまでも旧来のものを踏まえたうえで「改めて新しく」すること、それにより②の継続性へ繋がる訳であり、まさに RI 会長のいわれる「3つの柱」は独立した概念ではなく、全て繋がっているのだといえます。ポール・ハリスも「ロータリーにはまだ長い道のりがあります。このムーブメントが既に完成品だと考える人はいかにも短絡的です。過去を見ても、そのような考え方を正当化するものはありません」（1928 年）と述べられている通り、継続と革新は一体なものです。

この継続と革新について、少し視点を変えて考えてみます。私たちの住むこの日本の国はその長い歴史から、様々な伝統と呼ばれる文化が息衝いています。しかしこれら伝統文化が数十年、数百年と受け継がれ、現代にも残っているのは、常にその時代や状況に応じて「変化」することで、その心や形を「活かして」きたからです。つまり変化し続けることで生き続けているから「伝統」となるのであり、変化をせずに来たものは「伝統」ではなく形だけが残った「遺産」でしかないのです。

ポール・ハリスも「世界は絶えず変化しています。そして私たちは世界とともに変化する心構えがなければなりません。ロータリーの物語は何度も何度も書き替えられなければならないでしょう」（1935 年）とされています。

さて、日本の最も古い書物「古事記」の巻頭に「稽古照今」（けいこしょうこん）という言葉が出てきます。これは「古きを稽（かんがえ）今に照らす」という意味です。物事の始まり、本質をしっかりとりえながら、今の私達にどう活かすのか、ポール・ハリスが言われる「世界とともに変化する心構え」そして「物語は何度も何度も書き替えられなければならない」という考えは私たちの祖先、先人から継承、継続されてきた想いと何ら変わらないといえるでしょう。

ロータリーが大切にしている「職業奉仕」の考えについて、その始まり（本質）を学び（稽え）、現代に照らして変革し、ロータリアンとして実践することを皆様と一緒に努めてまいりたいと思います。

「入りて学び、出でて貢献せよ—Enter to Learn, Go Forth to Serve」

（1947-1948 年、ケンドリック・ガーンジー RI 会長の RI テーマ）

地区職業奉仕委員 佐野 安正

各クラブの会長・幹事・職業奉仕委員会の方へ例会でこの新聞の紹介をお願いします

職業奉仕 WEB ラーニング 参加者募集

2025-26 年度 1/21、3/18、5/20

水曜日 19:00 より 20:15 まで

職業奉仕の基礎を一緒に学びましょう。

参加には事前申し込みが必要です。➡



こちらの勉強会はメーキャップ対象の研修会となります

2025 年 8 月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計
				8月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減
第1グループ	佐賀	3	76.5	73	7	78	7	5	1	4
	小城	3	60.0	28	4	28	4	0	0	0
	牛津	4	70.4	24	0	25	0	0	0	1
	多久	3	77.4	31	6	32	6	0	0	1
	佐賀大和	3	62.3	22	6	23	6	0	0	1
	小計		69.3	178	23	186	23	5	1	4
第2グループ	佐賀西	3	72.3	39	4	41	4	0	0	2
	佐賀北	2	63.4	44	3	44	5	0	1	-1
	佐賀南	4	64.7	46	6	49	6	1	0	1
	神埼	3	68.8	39	4	39	4	0	0	0
	佐賀空港	3	62.7	17	0	17	0	0	0	0
	小計		66.4	185	17	190	19	1	1	0
第3グループ	有田	3	72.9	27	2	27	2	0	0	0
	武雄	3	81.8	40	2	44	2	0	0	4
	鹿島	3	95.1	25	5	27	5	0	0	2
	嬉野	4	85.7	24	2	22	2	0	1	-1
	大町	3	96.7	12	0	13	0	0	0	1
	太良	3	92.6	9	0	9	0	0	0	0
第4グループ	小計		87.5	137	11	142	11	0	1	-1
	唐津	3	85.8	55	0	56	0	0	0	1
	伊万里	4	88.0	25	1	25	1	0	0	0
	唐津東	3	87.9	49	2	51	3	0	0	2
	唐津西	3	87.8	27	1	28	2	1	0	1
	伊万里西	3	77.4	34	5	34	5	0	0	0
第5グループ	唐津中央	4	84.0	33	4	33	4	0	0	0
	小計		85.1	223	13	227	15	1	0	1
	佐世保	3	78.6	81	1	81	1	0	0	0
	平戸	3	65.0	22	3	22	3	0	0	0
	北松浦	3	77.3	25	2	24	2	0	1	-1
	佐世保西	4	73.9	22	6	24	6	0	0	2
第6グループ	松浦	3	82.7	25	0	26	0	0	0	1
	小計		75.5	175	12	177	12	0	1	-1

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計
				8月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減
第6グループ	佐世保南	4	100.0	60	3	64	3	0	0	4
	佐世保東	3	68.4	25	1	26	1	1	0	1
	佐世保北 (衛星クラブ14)	3	98.6	54	6	53	6	0	0	-1
	佐世保中央	3	89.9	52	2	53	2	0	0	1
	佐世保東南	2	68.0	25	0	25	0	0	0	0
	HTB佐世保	3	77.2	23	4	23	4	0	0	0
第7グループ	小計		83.7	239	16	244	16	1	0	1
	大村	3	85.0	41	4	40	3	0	0	-1
	島原	3	78.7	24	3	26	3	1	0	1
	大村北	3	78.6	26	1	26	1	0	0	0
	島原南	3	68.8	17	2	17	2	0	0	0
	大村東	3	77.2	36	7	36	7	0	0	0
第8グループ	小計		77.7	144	17	145	16	1	0	1
	諫早	4	66.4	68	0	70	0	0	0	2
	諫早北	3	79.5	74	3	77	3	1	0	1
	諫早西	3	84.5	46	3	44	3	0	2	-2
	諫早多良見	4	91.3	24	1	24	1	0	0	0
	雲仙 諫早南	2	75.0	12	3	12	3	0	0	0
第9グループ	小計		79.3	224	10	227	10	1	2	-1
	長崎	2	84.3	60	2	63	3	1	0	1
	福江	4	62.0	30	0	30	0	0	0	0
	長崎北東	2	92.3	34	2	35	2	0	0	1
	福江中央	3	84.3	18	2	18	2	0	0	0
	長崎西	3	68.7	33	1	34	1	1	0	1
第10グループ	小計		78.3	175	7	180	8	2	0	2
	長崎北	3	78.4	67	2	71	3	1	1	0
	長崎南	3	73.3	63	2	63	2	0	0	0
	長崎東	4	75.2	39	2	39	2	0	0	0
	長崎みなと (衛星クラブ10)	3	81.2	33	7	34	7	0	0	1
	長崎中央	3	88.8	42	1	43	1	0	0	1
第11グループ	長崎出島	4	77.6	69	10	70	10	0	0	1
	小計		79.1	313	24	320	25	1	1	0

* 上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は
2025年8月1日から2025年8月末までの増減です。

54クラブ合計 78.6 1,993 150 2,038 155 13 7 6 46

新会員紹介

私たちの新しい仲間になりました
方々を紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職
※今月号に掲載が間に合わなかった
新会員の方のご紹介は、次号に
掲載させていただきます。



佐賀RC
加賀山 敏郎 君
日本銀行佐賀事務所
事務所長



佐賀RC
時里 優 君
(株)サガテレビ
経営企画局長



佐賀RC
柿井 健一 君
NTT西日本(株)
佐賀支店
支店長



佐賀RC
久野 真也 君
U.アソシエート(株)
代表取締役



佐賀RC
小山 千恵 君
Very Very
代表



佐賀南RC
林田 精一郎 君
はやしだ耳鼻咽喉科
院長



唐津西RC
江頭 直子 君
キャッスルマウンテン
代表



佐世保東RC
堤 憲昭 君
(株)ユメマチ
取締役 専務



島原RC
柴田 英輔 君
(医)島原保養院
事務長



諫早北RC
福田 賢哉 君
(株)林田金属
代表取締役



長崎RC
遠藤 理恵 君
九州旅客鉄道(株)
長崎支社
執行役員長崎支社長



長崎西RC
福島 正実 君
(株)藤井からすみ店
代表取締役社長



長崎北RC
吉田 利明 君
アネーラ(税)長崎事務所
所長



謹んで
ご冥福をお祈り
申し上げます



嬉野RC
福田 文夫 君
享年 68歳



長崎北RC
野口 司郎 君
享年 92歳

からつ勘右衛 (かね) 話



【第5話 飾り鯛】

今日は、かねとんの、飾り鯛の話ば、しゅうだい。

唐津では秋祭りの「くんち」には、どこの家でも御馳走を用意してお客様を接待する習わしがあります。

ある年の「くんち」の日、勘右衛は一張羅の着物を着て、大きな鯛を下げて一番大きな家を訪ねました。家の者達は「あんケチの勘右衛が鯛ば持ってきた。いつもは手ぶらで来るから追い返すばってん今日は家に上げてやれ」となって勘右衛を屋敷にあげることにしました。勘右衛は持って来た鯛を玄関わきの木にぶら下げて、屋敷に上がり、よく食べ、よく飲み、胃袋が破れるくらいご馳走になりました。



さて、家の者が「勘右衛はいつ帰るのか？いつ鯛をくれるのか？」と、ソワソワしながら待っておりますと、勘右衛が急に立ち上がり「沢山ご馳走になりました。有難うございました」と、お礼を言うより早く玄関を出て、木に吊るしていた鯛をはずして帰りかけました。家の者はあわてて「勘右衛どん、そんな鯛はうちにけるとじゃなかとね」と尋ねると、勘右衛は「しゃんかつもりで持って来たつじゃなか」と言って、さっさと帰ってしまいました。家の者は二の句がつげず、ポカンとして隣の家に向かう勘右衛と鯛の姿を見送りました。

今日の話は、こいばっかい。

(富岡行昌 著 『かねばなし』 より)

編集後記

「くんち」は九州北部で「秋祭り」を表す方言です。そのため、九州を離れた学生時代「唐津くんち」を「唐津君の家」と解釈された時の衝撃は今でも覚えています。そのような聞き間違い(?)に悩まされた学生時代ですが、今は老眼が進んだせいで本誌編集の際に見間違いで苦労しております。11月は紅葉の季節。目の保養に行きたいところですが、皆様から頂いた珠玉の原稿を見るのが最優先の今日この頃です。

月信委員 戸川 忠俊

国際ロータリー 2740 地区
ガバナー事務所

〒847-0012 佐賀県唐津市大名小路1-54 唐津商工会館地下1階
TEL 0955 (53) 9061 FAX 0955 (53) 9062
E-mail : ri2740tsuji@vc.people-i.ne.jp

WEBサイト▶

